

 **和食・麺処**
SAGAMI
 Il numero 1 dei ristoranti di
 NOODLES GIAPPONESE

ご来店お待ちしております!
 Vi aspettiamo a
Milano
Modena
Parma
Reggio Emilia
B. Lombardo
Verona
Bologna
Madrid **MORE**   **MORE!**


 www.sagami.it


NANA CALVIA

isato prugger
 light, furniture



隔月刊日本語新聞
 2024年11-12月号
No. 52

隔月刊日本語新聞 - PUBBLICAZIONE
 PERIODICA GRATUITA distribuita in Italia
 ANNO 8 - NUMERO 6 - NOVEMBRE/DICEMBRE
 2024 | Edito da: Geienneffe Editore S.a.s.
 testata giornalistica iscritta al Tribunale
 di Milano n° 53 del 23/01/2017

わくわく **するイタリア新聞**
Curiosare il Giappone
 Articoli in italiano da pag. 6

おしゃれな街
Una città alla moda



CIAO!
JOURNAL

www.ciaojournal.com
ciao@ciaojournal.com

Lingua

Corso di giapponese
• per adulti
• per bambini
日本人のためのイタリア語

Traduzioni e interpretariato

giapponese ↔ italiano
日本語 ↔ イタリア語

合格

**Ciao! Journal 広告掲載料金
Tariffe per pubblicità**

**広告一回掲載料金
Tariffe Pubblicità per una singola uscita modulo (mm59×59)**
€150+IVA (mm59×59)
€90+IVA (mm59×26.5)

1ページ Prima pagina
タイトル上 sopra la testata €380+IVA

2,3,16 ページ Pagina 2,3,16 €200+IVA

上記の料金に広告原稿作成代は含みません。
Non è compresa la tariffa di elaborazione del banner.

チャオジャーナル無料配布先募集

- イタリアの各地域への1回の送料:30ユーロ
- クーリエサービスにて送付:ご希望部数100部まで
- 本誌p.2の無料配布先に御社名記載

詳細のお問い合わせ
Per maggiori informazioni scrivere a
ciao@ciaojournal.com

**CIAO! Journal 無料配布先 (一部)
Dove trovare CIAO! Journal**

Milano Consolato Generale del Giappone a Milano, JETRO, 日本人学校, Brera歯科, Sagami, Poporoya, Shiro, Ristorante Osaka, G81 Bento & mood, Yazawa, Gastronomia Yamamoto, Tenoha, Tenoha Ramen, Emoraya, Tanabata, Alimentari Gaghe, Hair Salon Otto, Hazama, Università degli Studi di Milano, Info Point Milano, JFC Italia, IperCoop Piazza Lodi店内 WARAI SUSHI, Sagami Milano Corte Lombarda 店, Ristorante Matanè, Kappou Ninomiya

Roma Ambasciata del Giappone, Istituto Giapponese di Cultura, 日本人学校, Zensushi, Ristorante Mikachan, Ristorante Sushisen

Torino Takoyaki Minamoto, IperCoop Parco Dora店内 WARAI SUSHI

Pinerolo IperCoop Pinerolo店内 WARAI SUSHI

Genova Coop Corso Europa店内 WARAI SUSHI

Bologna Sagami

Verona Sagami

Como Miciscirube

Modena Sagami

Parma Sagami

Reggio Emilia Sagami, Ramen Hideo

Arezzo Coop.Fi Centro Arezzo店内 WARAI SUSHI

Figline Valdarno Unicoop Firenze店内 WARAI SUSHI

Bari IperCoop Bari Japigia店内 WARAI SUSHI

Lecce IperCoop Lecce店内 WARAI SUSHI

Palermo Ho Bento

Tokyo Istituto Italiano di Cultura Tokyo, サルトリア・イブシロン, クランデスティーン41

Kobe 神戸日伊協会

Fukuoka 福岡日伊協会

人命か国境か

難民対策で司法と衝突するメローニ内閣

2024年9月16日、パレルモ検察局はサルヴィーニ副首相兼運輸・インフラ大臣に対し、「オープンアームズ号の難民不法監禁と公務執行拒否」の罪で懲役6年を求刑。更に10月17日、メローニ首相がはりきって開設したばかりの「アルバニア難民収容所」が、ローマの通常裁判所によってその出足をくじかれた。両首脳は難民対策で何か踏み違えたのか？それとも両人が言い張るように「左寄り判事」の仕打ちなのか。これら二つのケースを、そこに至る経緯と共に見ていきたい。

を救助したあと最も近い安全な港（POS=Place of Safety）にて下船させなければならない」（Questione Giustizia誌）とある。

8月9日、オープンアームズ号の弁護士達はパレルモの未成年裁判所に提訴。12日、同裁判所は「イタリアは難民受け入れ拒否と未成年者の国外追放という二つの違法行為を行なっている」として政府に説明を求めた。

8月13日、更に難民39人を救助した上、長期間海上に放置されて健康状態が悪化

オープンアームズ号事件

事は5年前に遡る。2019年8月1日、リビア海域で難民の救助活動を行っていたスペイン国籍「オープンアームズ号」は、難民124名を救助した。そしてその翌日、イタリアに難民の上陸を申請する。しかし、当時の副首相兼内務大臣サルヴィーニは8月5日の国会で「国の保全に係る暫定措置令」

(Decreto Sicurezza bis) をそそくさと可決し、これを適用して救助船のイタリア領海への進入を阻止した。結果、病状が深刻だった2名と同伴者1名は下船できたものの、残る121人については下船が許可されなかった。その中には未成年が32人（うち身寄りの無い子供が28人）いた。

海上の人命救助は国の枠を超えた国際規定によって管理されており、国別に定められている不法入国対策に優先して厳守されねばならない。「イタリア国憲法第117条に基づき、EU及び国際法に従って、難民

した人々を抱え、医薬品も底をついてきたオープンアームズ号は、「難民の救助にサルヴィーニ大臣によるDecreto Sicurezza bisの適用は不当」とラツィオ州行政裁判所（TAR）に訴えた。翌14日、TARはこれを受け入れ、「政府によるイタリア領海へのオープンアームズ号進入禁止措置」を解除。だがここに至っても、サルヴィーニ内務大臣は依然として入港許可を出さなかった。

難民を乗せて2週間以上経った8月16日、同救助船は今度はアグリジェントの



La nave Open Arms ©Francesco Placco/Creative Commons (gennaio 2024)

RISTORANTE GIAPPONESE 創業1977年 老舗日本料理店

SHIRO POPOROYA

こだわりの食材
本物の技術
くつろぎの空間
お客様からの信頼

open: 12:30 - 14:30 / 19:30 - 22:30
(last order)

休業日: 水曜日の昼と日曜日

Closed: Wednesday lunch & Sunday

via Eustachi, 20 Milano ☎ 02 83972091

検察局に、政府による義務不履行を訴える。これを受けて8月20日、アグリジェント検察局のルイジ・パトロナッジョ検事が自らオープンアームズ号に乗船し、劣悪な状況を自分の目で確認した。そして、サルヴィーニ大臣の職権乱用罪の可能性を認めると同時に、船舶には「事前差し押さえ措置」を適用して港から出られないようにした。その結果、20日間も船での生活を強いられていた難民147人は、漸くランペドゥーサ港に上陸することができたのだ。

サルヴィーニ氏の免責特権と上院決議

その後、サルヴィーニ氏はこの行動の合法性を問われることになる。事件当時、同氏は第1次コンテ内閣の下で副首相兼内務大臣を務めていた。現在はメローニ内閣の下で副首相兼運輸・インフラ大臣を務めている。イタリアでは国会議員を告訴しようとしても、すぐに法廷に持ち込むことはできない。憲法で「免責特権」(immunità)が認められているからだ。「国会の自由と独立を守るため」というのがその理由である。当該議員が所属する議会の長(上院及び下院議長)が許可しない限り、国会に警察が立ち入ること自体できない。現行犯は別として、逮捕をはじめ捜査、通話傍聴、メール等の押収にも議長の許可が必要で、これを「国会の不可侵性」と言う。議員を法廷に送り込むかどうかは、国会の当該機関(上院議員の場合は選挙・免責特権評議会)がその都度審議し、多数決を以て決めるのである。

サルヴィーニ氏の触法行為はこれが初めてではない。難民救助船DiCiotti(2018年6月)とGregoretti(2019年7月)の2艘

についてもイタリアの港への係留を長期間阻止し、刑事訴訟問題に発展しかけたものの、前者は上院決議で、後者は担当判事の判断でいずれも棄却されたのだ。だがオープンアームズ事件はこれらの前例を覆した。

パレルモ閣僚裁判所の要請を受けて2020年7月30日に上院で審議された結果、サルヴィーニ氏は法廷に差し出されることになった。それに先立つ5月26日の評議会決議ではItalia Viva(党首レンツィ)が棄権したため、起訴しない方に票が動いていたが、7月には起訴賛成の中道左派側にレンツィがつき、起訴に必要な絶対多数の160票を超えたのである。上院のGoサインを受けて2021年4月17日、パレルモの予審判事が「サルヴィーニ氏が法廷で裁かれることを阻止する要因は何もない」として、第1審を「2024年9月15日」に指定したのだ。

求刑

その日パレルモ検察局は「難民不法監禁と公務執行拒否」の罪で懲役6年をサルヴィーニ氏に求刑した。マルツィア・サベッラ検事補は「POS(安全な港への下船許可)はオープンアームズからの要請後すぐに出されるべきだった。下船拒否はDecreto Sicurezza bisを遵守したためと言うより、海上の人命救助に関する規定を軽視した行為である」と理由を説明。「難民の置かれた状況を確認した上で故意に上陸を拒否し、147人の人権を理由もなく侵害した」。これに対しサルヴィーニ氏は「これまでどんな政府も大臣も“国境を守った”との理由で訴えられたことはない。憲法第52条は祖国の防衛は国民の義務だと説いている。原告の論告が正しいのであれば、『私はイタリアとその国民を守った罪で有罪だ』と宣言する」と語った。

原告側にはオープンアームズの弁護士ほか、人命救助団体の「Emergency」をはじめ「Arci」「Legambiente」といった23の非政府団体が集結。NPO「オープンアームズ」創設者オスカル・カンブス氏は「自分の政党プロパガンダのために難民の人権を侵して救助を拒否するとは、恥ずべき行為。この裁判は、民主主義と人権のあり方を明確にする良い機会だ」と

(p.4につづく)



Indice 目次

- p.2 人命か国境か
- 難民対策で司法と衝突する
メローニ内閣
- p.4 かけあしイタリアのニュース
- p.6 写真家仁木岳彦、写真を通して対話する
- p.6 Niki Takehiko: dialogare attraverso la fotografia
- p.10 「華やかさ」だけでは語れない
ファッションウィーク
- p.10 La Fashion Week non è solo “glamour”
- p.12 そもそもファッション・ウィークってなに?
- p.12 Che cos'è la Fashion Week?
- p.14 素敵な紙細工の店
- p.14 Calambour, un negozio di decoupage
- p.15 Ciao! Journal in piazza
- 掲示板/annunci

RESTORANTE HAZAMA
2段重+釜炊きご飯付き
おせち
二〇二五年 HAZAMA
350€(2人前)
ご予約受付中!
ご注文はお電話、メールにて承ります。
Via Savona 41, 20144 Milano
info@ristorantehazama.com T +39 02 09955972

Ciao! Journal Pubblicazione Periodica
Registrazione
Tribunale di Milano n°53 del 23/01/2017
Direttore Editoriale Junko Kataoka
Direttore Responsabile Eugenio Bersani
Editing e pubblicità Geienneffe Editore S.a.s.
C.F. e Partita IVA: 09698530962
C.C.I.A.A. di Milano REA n°: MI-2108642
Mail: ciao@ciaojournal.com
Web: www.ciaojournal.com
Redazione: Junko Kataoka, Natsu Funabashi, Isato Prugger
Progetto grafico: Gabriel Suzuki Studio
Revisione in italiano: Fulvio Cattaneo
Traduzione in italiano: Camilla Troisi, Emanuela L. Arancio
Hanno collaborato a questo numero:
Nao Masunaga, Nanako Suezaki, Natsumi Kan, Masao Yamanashi
Foto in copertina: Nanako Suezaki
Tipografia: Gruppo Stampa GB s.r.l.
Viale Edison, 627 - 20099 Sesto san Giovanni (MI)
Finito di stampare nel mese di novembre 2024
Riproduzione riservata ©Geienneffe Editore S.a.s.



かけあし
イタリアのニュース



2024年8月

●17日、トリノの刑務所で暴動。パルマでは受刑者1人自殺。「サル痘」欧州第1号がスウェーデンで。酷暑と雨不足でワイン用ブドウの収穫激減。●18日、バーリの刑務所で暴動。レッツェで男性がイトグモに刺され死亡。コリエーレ紙「自由業者の56%が所得過小申告」。●19日、アラン・ドロン氏死去（88）。●21日、チューリヒ発ミラノ行き列車でルーマニア人男性の荷物から盗まれた携帯121個をコモの国境警察が発見。インディアンウェルズでシナーからステロイド。だが本人の過失ではないと認められ失格にならず。●22日、ローマ、45か所で山火事。●24日、ゾーリンゲンでイスラム過激派が通行人襲い死者3名負傷者4名。●25日、1週間の予定で宇宙ステーションに向かった飛行士2名、帰還船故障で6か月足止め。コリエーレ紙「髪の植毛でトルコを訪れるイタリア人年間7000人」。●28日、アレツォのレストランである家族が「誕生日ケーキ切り分け代」として58.50ユーロ請求される。

9月

●1日、昨年10月7日にハマスの人質とな

った若者6人の死体がガザで見つかる。ミラノのベッカリーア少年刑務所で度重なる暴動、2名脱走、8名負傷。ロンバルディアで豚のペスト。●2日、ミラノ近郊で17歳少年が父親の誕生日を家族で祝った夜に両親と弟を刺殺。動機は「自由になりたかった」。インフルエンサーのマリア・ロザリア・ボッチャがサンジュリアーノ文化大臣との関係をSNSで公表、文化省は否定。ミラノの86歳女性、サルデーニャの露店でカードで食品購入し1155ユーロ騙し取られる。トレッキングをしていたアウディ・イタリアの取締役がトレンティーノ州の山で滑落死。●3日、2019年に人違いで撃たれ半身不随になったポルトウツォ選手がパリ・パラリンピック100m平泳ぎで銅。●6日、北伊で暴風雨。●7日、サンジュリアーノ文化大臣辞任。●8日、フォッジャで患者の遺族50人が総合病院で外科医数名を襲撃。●9日、シナー、USオープンでイタリア人として初優勝。ベッカリーア刑務所で3人脱獄。●10日、独が移民受け入れ規制強化。ヴィアレージョで海水浴場経営者がスリを車で轢き殺し逃走。●11日、モンブランに登頂したイタリア人2名と韓国人2名が悪天候で死亡。アイルランドで不当に税の優遇措置を受けたアップル社に欧州裁判所が罰金130億ユーロ。●13日、欧州中央銀行が0.25%追加利下げ。●14日、コリエーレ紙「伊の

出生率は昨年度比1.4%減で1人当たり1.2人。新生児17万8000人で史上最低」。Vanity Fair誌「独の大富豪キューネ氏（キューネ・アンド・ナーゲル名誉会長）の資産はナチス時代にユダヤ人7万世帯から強奪したもの」。●15日、2019年8月にオープンアームズ号がリビア沖で難民124人を救助し、イタリアに上陸申請した際、当時のサルヴィーニ内相の拒否で20日近く漂流した件で、パレルモ地検がサルヴィーニ現副首相兼インフラ相に懲役6年求刑（p.2に記事）。●16日、トランプ氏が再度銃撃の標的に。トレヴィーゾ近郊で女性が幼い娘と川に飛び込み自殺。8月9日にパルマ近郊の民家の庭から新生児の遺体2体が発見された件は、その家の22歳女学生への疑い濃厚。●18日、再任のデア・ライエン委員長を筆頭に2024～29年のEU委員会成立。レバノンでヒズボラ戦闘員の通信機器が相次いで爆発、18名死亡、4000人負傷。●19日、レバノンでウォークーターキーが爆発しヒズボラ戦闘員20名死亡。●20日、エミリア・ロマーニャ、豪雨で昨年同様の甚大な被害。EU議会がウクライナのロシア領におけるミサイル攻撃承認。ハロックス元経営者の故アルファイド氏を従業員女性20人が強姦罪で告訴。●21日、故アニェッリ氏の親戚エルカン一族の資産の一部を脱税の疑いで差し押さえ。●22日、メストレで強盗に遭った

語った。メローニ首相はこれに対して「イタリア共和国の大臣が国民の要請に従って国境を守ったが故に6年の懲役を言い渡されるなど、信じ難い危険な前例だ」。どこにでも出しゃばるイーロン・マスク氏「判事の方が気が触れている。あなたこそ6年懲役に服せよ」。一方シュラインPD党首は「三権分立のこの国で首相が被告の肩を持つ発言は不適切」とコメントした。

10月18日にパレルモの装甲刑務所で行われた被告側の弁論で、被告人弁護士は罪状を全面的に否定、無罪を主張した。

アルバニアの難民収容所

1年前の2023年11月6日、メローニ首相は「イタリアへ向かう難民の拘留施設をアルバニアに建設する」ことで同国のラマ首相と合意したと発表した。具体的には、アルバニアの2カ所（シェンジンとジ

ャデル）にイタリア政府が全費用負担で収容所を建設し、イタリア湾岸警備隊がイタリアを目指す難民を海上で救助した後、ここに収容する仕組みだ。施設領域にはイタリアの法律が適用される。同協定は2024年2月15日に上院で法案が可決され、実行されることになった。アルバニアとの合意期間は5年となっている。

2024年5月20日に完成予定だった収容所の建設工事は5か月遅れ、この10月に終了した。国際海域で救助された難民をここに連れてきて、彼らの亡命申請を受理するかどうかをイタリア当局が審査する。亡命申請者用の建物の収容人数は880人、イタリアへの受け入れを拒否された者の建物は144人まで収容可能。アルバニアに収容されるのは「安全と見なされる国」から逃げて来た難民のみとなっている。

同収容所の第1号は、10月16日にイタリア海軍のリビア号に救助された16人（バ

ングラデシュ10人、エジプト6人）の中の12人であった（4人は未成年などの理由でイタリアに送られた）。だが翌17日、ローマ通常裁判所の移民・人権課が「彼らのうちの難民も、安全と見なされる国から来ていると認められない。故にイタリアに連れてくるべきである」と「待った」をかけたのである。欧州司法裁判所がバングラデシュとエジプトを「安全が保証されない国」と認定しているからだ。結局12人はバーリに回され、アルバニア収容のイタリア難民はゼロとなった。

メローニ内閣はこの収容所のために、アルバニアへの保証費1650万、建設費1億6000万、難民移動の船のリース代1億、警官派遣3億、弁護士出張費6千万など、5年間で総額6億ユーロという莫大な予算を組んでいる。しかしながら、国民の期待と血税を大量に投入して実施した「難民国



女性を助けようとした青年が殺される。
 ●24日、イスラエルがレバノンの1300カ所攻撃、ヒズボラのリーダー3名含む死者500人(子供35人)。●25日、国籍付与に必要な居住期間の5年への短縮を問う国民投票実施を目指した署名運動、最低限の50万人達成。サンジュリアーノ文化相の後任ジュリ氏が大学卒業試験をパス、文学士に。2016年からコロラドの刑務所で無期懲役の麻薬密売人エル・チャポの妻、ミラノのファッションショーにモデル参加。トスカーナ、豪雨で観光客2名行方不明。●27日、サルデーニャのヌオーロで男が発砲し妻と娘が死亡、10歳の息子と通行人1人重症。男は自殺。ファーンで心臓移植待ちの男児の容体が学校で急変、授業中に死亡。●28日、マルペンサ空港を「ベルルスコーニ空港」と命名することに反対し、ミラノはじめ市町村グループが提訴。ナオミ・キャンベルがチャリティーで集めた資金の大半を私用に使っていた。マントヴァ近郊で17歳専門学校生が出会い系サイトで会った42歳女性を強姦して殺害。●30日、教皇「中絶を行う医者は刺客」。

10月

●1日、インテルとミランの過激サポーター19人が監督や選手を巻き込み暴力団活動をしていた疑いで逮捕。オーストリア国政

選挙で極右が最大得票したが過半数に遠く、反対派3党の連立が生まれる可能性。
 ●2日、ヒズボラ最高指導者ナスララが殺害されたことへの報復でイランがイスラエル攻撃、ミサイル181発。35年前交通事故死とされていたコセンツァのフォワードのベルガミーニが、当時恋人だったイザベラ・インテルノに殺されていた事が確定、懲役16年。●3日、早朝ローマで鉄道の電気回線故障、ローマから電車が1台も発車できず。●6日、ローマのパレスチナ支持デモで40人負傷(うち警官30人)。ハマスのイスラエル攻撃から1年経つが依然人質101人。ターラントのボーイング787の部品工場が安全規定違反の製品を供給していた。ミランとインテルの過激サポーターがチケットやグッズを10倍の価格で販売していた。●7日、パチカンのIOR(宗教事業協会)職員同士が結婚し、同協会の趣旨に反するとして解雇される。●8日、大統領選を控えた米国でイーロン・マスク氏が、トランプ候補に投票する市民に47ドル支給をオファー。●9日、バイルート近郊でRAI3記者一行が住民に襲われ、運転手が心臓麻痺で死亡。●11日、国連のレバノン暫定駐留軍基地(伊兵1200人)をイスラエルが攻撃、イタリアがイスラエルに抗議。Intesa San Paolo銀行のビシリエ支店職員が政治家や有名人の口座データにアクセスしていた。ゼレンスキー

大統領がローマを訪問しメローニ首相と会談。●12日、ノーベル平和賞に日本被団協。リナーテ空港とミラノ中心を結ぶ地下鉄全駅開通。クレーマの高校に19歳の教師着任。●15日、アンコーナの高校でイジメにあっていた少年が父親のピストルで自殺。

Masao Yamanashi

外押し出し対策」第1弾は空振りに終わったわけだ。しかも、入札無しで建設を託された「Medihospes」は、マフィアとの関係で取り調べを受けている業者だ。何よりも、ラマ首相とメローニ首相の収容所建設の合意自体、そこに至った経過が不透明なのだ。シュラインPD党首を始めとする野党は「膨大な国税を浪費した自党プロパガンダ」と非難。対して与党側は、「第1弾が覆されたのは左翼判事の仕業」と応酬している。

それにしても、アルバニアが5年後に「やっぱりやめた」と言えば、全部引き払うのだろうか？

難民の流入制限よりも難民の人権に重きを置き、与党の政策を覆す判決を下したパレルモとローマの担当判事達は、夥しい中傷や脅迫を受けて現在はボディガードをつけての生活だ。欧州各国で極

右勢力の拡大が報じられる今、70年前にナチス・ファシズムにボロボロにされたこの国も、またそちらに向かって舵を取り始めたのか？ 本当にそれでいいの？

Natsumi Kan

最高級品種の日本種米
 安心安全の減農薬栽培米
 さめてもおいしいお米

ポポロロ屋はイタリアにおける販売代理店です。
 Poporoya è distributore esclusivo per l'Italia

Via Eustachi 17 Milano
 ☎ 02-29406797
 info@poporoyasrl.it

Lunedì 17:30-21:30
 Da martedì a sabato 9:30-14:00 | 17:30-21:30

GLOVOのサイトでもご注文頂けます。
 POPOROYA MARKETでご検索下さい。
 "POPOROYA MARKET" è disponibile anche su GLOVO.

プレラ歯科
 一般歯科
 小児歯科
 矯正歯科

フィジオセラピー
 偏頭痛 肩こり 腰痛
 リンパマッサージ

BRERA STUDIO MEDICO
 Via Fatebenefratelli, 4 Milano
 (地下鉄 Lanza - Turati 近く)
 日本語専用ダイヤル340-2497054

GAGHE
 Korean & Japanese Food Shop

가게
 Korean & Japanese Food Shop

korean & japanese food shop

Via Piacenza, 24 - 20135 Milano
 Tel. 02 84076284
 M3 Porta Romana

写真家 仁木岳彦、写真を通して対話する



Alice in a red dress

2017年にヴェネツィアの「Triennale della Fotografia Italiana」特別賞を受賞した作品 / Nel 2017 riceve la Menzione Speciale alla Triennale della Fotografia Italiana tenutasi a Venezia

仁木さんが写真家への道を進んだいきさつは？

仁木 父の一眼レフカメラを中学の頃から触らせてもらっていましたが、私は高校では寮に入ったのですが、その一眼レフを家から持ち出すことができたこと。そして、寮には全国から集まった個性豊かな人たちがいて、彼らからありとあらゆる刺激を受けたこと。視界がパッと開けましたね。この2つがまずラッキーポイントでした。

大学は新聞学科に入り、サークルは写真部に所属しました。どのサークルにしようかと探していた時、写真部の作品に衝撃を受けたんです。先輩が撮影したレバノン内戦の写真などは雑誌にも掲載されていました。他にもヨーロッパやインドの風景写真やストリートポートレートなど、どれもアマチュアの域を超えていた。ここで先輩たちに学びたいと思ったんです。

当時の私は人物の写真ばかり撮っていました。人との関わりが面倒で風景写真を撮るのが好きな人も多いと思うのですが、私の場合は写真を通して人と対話するのが楽しかった。大学生ですからキャンパスの友達の写真をいっぱい撮っていました。その中に職業モデルをしている女の子がいて、彼女の写真を特にたくさん撮っていたのです。しかし大学3年生の夏休みに白血病が見つかり、数ヶ月後の秋に彼女は亡くなってしまった。大変なショックを受けました。

お葬式に持っていく写真を選んでいるとき、彼女の写真集を作ろうと思いつき、暗室にこもって作業をしていました。そのときに「つくづく僕はなんでこんなに写真が下手なんだ」って思った。でも絶対に撮り直しが効かない。だって彼女はもういないのですから。写真って一発勝負で、やり直しできないってことに、そのとき気がついたんです。撮れる時にちゃんとした技術で撮らなくちゃいけないんだと。そ

Niki Takehiko: dialogare attraverso la fotografia

Signor Niki, può raccontarci di come è diventato fotografo?

Niki All'inizio, ci sono state due circostanze particolarmente fortunate. La prima è che, fin dalle scuole medie, mio padre mi lasciava usare la sua reflex e mi permise di portarla con me quando, al liceo, andai a vivere in dormitorio. La seconda è che, nel dormitorio, entrai in contatto con studenti dalle svariate personalità, provenienti da tutto il Giappone, dai quali ricevevo ogni tipo di stimolo. La mia visione si allargò improvvisamente.

All'università mi iscrissi alla facoltà di Giornalismo ed entrai nel club di fotografia. Mentre ero alla ricerca di un club (attività extrascolastiche sportive e culturali svolte dagli studenti nelle scuole e nelle università giapponesi, N.d.T.) a cui unirmi, rimasi particolarmente colpito dalle opere del club di fotografia. Alcune fotografie scattate dai colleghi più grandi durante la guerra civile in Libano erano state persino pubblicate su una rivista. E in generale, le fotografie di paesaggi scattate in Europa e in India, così come i ritratti di strada, erano tutte di un livello che andava ben oltre l'amatoriale. Capii che volevo imparare da loro.

A quel tempo scattavo solamente fotografie di persone. Penso che molti preferiscano fotografare paesaggi per evitare il disturbo di interagire con altre persone, ma a me piaceva dialogare con gli altri attraverso la fotografia. Essendo uno studente universitario, facevo moltissime fotografie ai miei amici del campus. In particolare, tra loro c'era una ragazza che lavorava come modella professionista, e le scattai moltissimi ritratti. Purtroppo durante le vacanze estive del terzo



నికి たけひこ 帯広市出身の写真家。上智大学文学部新聞学科を1994年に卒業後、本格的な写真の勉強のためにニューヨーク州立ファッション工科大学に留学。2000年よりミラノ在住。特にポートレート写真が評価されており、イタリアの多くの著名人を撮影。ミラノを基盤として日伊で活躍中。

Niki Takehiko fotografo originario di Obihiro, in Hokkaidō. Dopo la laurea in Giornalismo conseguita presso la facoltà di Lettere della Sophia University di Tōkyō (Jōchi Daigaku) nel 1994, si reca negli Stati Uniti per studiare fotografia presso il Fashion Institute of Technology di New York. Attualmente risiede a Milano, dove vive dal 2000, ed è attivo in Italia e in Giappone. Apprezzato particolarmente per la sua fotografia ritrattistica, ha immortalato molte celebrità italiane.

してその一方で、「あ、凄いな」とも思っていた。「彼女が生きていた証がここにある。下手だけど悪くない。写真ってこんなに凄いんだ。じゃあもっと勉強しなきゃダメじゃないか」って。



Amy, *A Rainy Sunday* (1995)
ニューヨーク時代のポートレート／*Ritratto del periodo newyorkese*

では、ニューヨークで写真の勉強をした後、なぜイタリアに？

仁木 実は私は学生時代、腰から足にかけての激しい痛みずっと苦しんでいました。もう4年以上悩まされていて、どんな検査をしても原因がわからない。痛み止めも凄い量を飲んでいましたし、あらゆることを試しましたが、なかなか治癒しない。

そんな中、アメリカに行って1年目の1994年、トルコ人とイタリア

人の友人を訪ねる旅をしたんです。トルコからギリシャへ、そしてギリシャから船でイタリアのプリンディシに入った。すると、その日に痛みが消えてしまったんです。それまでは毎日3〜4回、痛みが戻ってきたら痛み止めを飲むという感じだった。それがプリンディシに着いてから痛みが戻ってこない。

「あれ？薬飲んだっけ？飲んだ記憶が無いぞ。でも痛くない…」。理由はわからない。ですがそれ以来、痛みが戻ってこなくなりました。

そのイタリア旅行中にもう一つ変なことが起こりました。フィレンツェのウフィツィ美術館を訪れたとき、ポッティチェッリの『ヴィーナスの誕生』の部屋で大泣きしてしまったのです。なぜかわからないが感情が溢れ出てきた。確かに、フィレンツェに着いた時に既に若干込み上げるものはあったんです。それが、『ヴィーナスの誕生』の部屋に入った途端、止められなくなった。悲しいのか嬉しいのかわからない。今思えば一番近い感情は「懐かしさ」だったかもしれません。「ああ、ここにいたんだね。それなのに僕はなんで知らなかったんだろう」って面食らった感じでした。➤



The Most Fashionable in 5th Avenue (1996)
ニューヨーク時代のストリートポートレート
／*Ritratto di strada del periodo newyorkese*

anno di università le fu diagnosticata la leucemia e pochi mesi dopo, in autunno, morì. Fu uno shock enorme.

Mentre stavo scegliendo le foto da portare al funerale, decisi di creare un libro fotografico su di lei, così mi chiusi nella camera oscura per lavorarci. In quel momento pensai, con rammarico: “Perché sono un fotografo così scarso?” Ma non potevo certo scattare nuovamente quelle foto, perché lei non c’era più. Fu allora che capii che la fotografia è una partita che si decide in un solo round: o la va o la spacca, senza possibilità di un secondo tentativo. Mi dissi che, quando avrei avuto l’occasione di scattare una foto, avrei dovuto farlo con la tecnica corretta. Allo stesso tempo, però, rimasi anche sbalordito da quelle foto. “Qui c’è la prova che lei ha vissuto. Non sono bravo, ma non è male. La fotografia è davvero incredibile”, pensai. “Allora, devo assolutamente studiare di più”.

Dopo aver studiato fotografia a New York, perché è venuto in Italia?

Niki Quando ero studente all’università, soffrivo di forti dolori che dalla zona lombare arrivavano fino alle gambe. Questo problema durava ormai da più di 4 anni, ma nonostante mi fossi sottoposto a vari esami, i medici non riuscivano a capirne la causa. Prendevo un’enorme quantità di antidolorifici: ho provato di tutto, ma non guariva mai.

In quel periodo, nel 1994, durante il mio primo anno in America, feci un viaggio per andare a trovare un’amica turca e una italiana. Dalla Turchia andai in Grecia, e poi dalla Grecia presi una nave per l’Italia, arrivando a Brindisi. Incredibilmente, quel giorno il dolore scomparve. Fino a quel momento assumevo antidolorifici 3 o 4 volte al giorno, ogni volta che il dolore si ripresentava. Però, da quando ero sbarcato a

Brindisi, il dolore non era più tornato. “Che strano” pensavo, “Ma ho preso la medicina? No, non ricordo di averla bevuta. Però non sento più dolore…”. Non so il motivo. Da allora, però, il dolore non è mai più tornato.

Durante quel viaggio in Italia mi capitò anche un’altra cosa strana. Quando visitai la Galleria degli Uffizi a Firenze, scoppiai in lacrime nella sala della “Nascita di Venere” di Botticelli. Non saprei dire esattamente perché, ma provai un traboccare di emozioni. Già quando ero arrivato a Firenze avevo sentito crescere in me un vago senso di commozione, come un groppo alla gola. Ma appena entrai nella sala della “Nascita di Venere”, non riuscii più ad arginare questa sensazione. Non capivo se fosse tristezza o felicità. Se ci penso ora, forse il sentimento che più si avvicina a ciò che provai potrebbe essere la nostalgia. Fu una sensazione improvvisa, che mi lasciò sorpreso e confuso: “Oh, eri qui. E allora perché non lo sapevo?”

Il dolore che mi aveva perseguitato da anni era sparito e avevo incontrato la Venere. Così iniziai a pensare che dovevo vivere in Italia. Era quasi un’ossessione. Pensavo: “Non voglio morire senza aver vissuto in Italia”, ahah.

Ho saputo che ha pianto a diretto due volte nella sua vita. La prima è stata nella stanza della “Nascita di Venere”. La seconda volta, invece?

Niki È stato nel 1997, quando andai a Gerusalemme. Davanti ad una statua della Vergine Maria in una chiesa, venni circondato da una luce bianca. Era una chiesa famosa e quindi c’erano molti pellegrini; li vedevo chiaramente mentre pregavano. Allo stesso tempo, vidi me stesso circondato da una sorta di nube bianca, morbida e luminosa. ➤

▼ 何年も苦しみ続けた痛みが無くなり、ヴィーナスに会ってしまった。「イタリアに住まないわけにはいかないだろう」って思うようになったというわけです。もうほとんど強迫観念でしたね。イタリアに住まずして死ぬのは嫌だって(笑)。

人生で2回大泣きしたことがあるそうですね。1回目は『ヴィーナスの誕生』の部屋。そして2回目は？

仁木 1997年にエルサレムに行った時です。ある教会の中にあった聖母マリア像の前で、私は何か白いものに囲まれたんです。有名な教会なので巡礼者がたくさんおり、私には彼らが祈る姿もちゃんと見えていました。と同時に、自分が柔らかく光る白い雲のようなものに包まれているのが見えたんです。そのとき私は激しく泣きました。その頃まだクリスチャンではなかったのですが、「私は赦された」という感覚に包まれたのを覚えています。



ボッティチェリのヴィーナスと聖母マリア、確かに似た印象を受けます。では、仁木さんが撮影の時に大事にしていることは何ですか？

仁木 まず、「間合い」でしょうか。これは剣道で使う言葉なのですが、勝負を仕掛ける前の対戦相手との距離の取り方や、「いつ仕掛けるか」という時間的なタイミングなどが「間合い」です。

そして仕掛けた後は、剣道のように戦うのではなく相手と交流したい。私が「仕掛け」て、その「想い」をキ

1997年にエルサレム聖墳墓教会で見かけた聖マリア像。写真を現像したら顔が白く光っていて、観音像みたいだと親近感を持つ。/La statua di Maria vista nella Basilica del Santo Sepolcro a Gerusalemme nel 1997. Quando sviluppa la foto, la fronte di Maria brilla di luce bianca, ricordandogli una statua di Kannon (dea buddhista della compassione, N.d.T.) e facendogli provare un senso di familiarità.



Camino de Santiago (2004)

800キロのサンティアゴ巡礼路を歩いた時の写真。道中、カトリックの洗礼を決めた。/Fotografia scattata lungo il Cammino di Santiago di 800 km. Durante il percorso, decide di essere battezzato come cattolico.

ャッチした相手からも何かが返ってくる。人間の場合だけではなく、食べ物からだって返ってくるんです。

更に、私の中のセンサーがどのくらい振れるか、これにこだわります。仕事の場合は「これぐらいの振れが欲しい」という目安を立てます。時間がない時にこだわりすぎると前に行けず、周りに迷惑をかけてしまいますから。ですが自分自身の作品を作る時には、自分のセンサーの振れを最大限感じたいと思っています。

▼ Anche in quel momento scoppiai a piangere. A quel tempo non ero ancora cristiano, ma ricordo di essermi sentito avvolto dalla sensazione di essere stato perdonato.

In effetti, la Venere di Botticelli e la Vergine Maria trasmettono un'impressione simile. Posso chiederle ora a cosa dà importanza quando scatta una fotografia?

Niki Innanzitutto, credo sia il “*ma-ai*”. È un termine usato nel *kendō* (“la via della spada”, l’arte marziale giapponese che utilizza spade di bambù) per indicare la combinazione tra la distanza appropriata da tenere dall’avversario prima di iniziare il combattimento e la scelta del giusto tempismo con cui attaccare.

Poi, dopo l’inizio dell’incontro, come nel *kendō*, non voglio combattere con il mio avversario, ma interagire e confrontarmi con lui. Quando “attacco”, i pensieri e le emozioni che voglio trasmettere vengono colti dall’altra parte, che a sua volta mi rimanda indietro qualcosa. E questo non avviene solo con gli esseri umani, ma anche con qualsiasi altra cosa, persino con il cibo.

Inoltre, un’altra cosa a cui presto particolare attenzione è quanto possa vibrare il “sensore” dentro di me. Quando lavoro, mi pongo come riferimento un certo livello di vibrazione che desidero sentire. Altrimenti, se mi focalizzassi troppo su questo aspetto quando ho poco tempo, rischierei di bloccarmi e non andare più avanti, causando disturbo alle persone con cui lavoro. Quando però scatto per realizzare le mie opere, voglio sentire il più possibile la vibrazione del mio sensore interiore.

Leggendo i materiali che mi ha fornito, ho trovato l’espressione

“essere moderati (*chūyō*)”. Può spiegarci meglio cosa intende?

Niki Pratico meditazione e yoga da quando avevo una ventina d’anni. Durante la meditazione, ci si addentra sempre più in profondità, finché, ad un certo punto, si raggiunge un’improvvisa stabilità. Quel momento è lo stato di “*chūyō*” (lett. moderazione, giusto mezzo; concetto di origine confuciana che indica una l’armonia e l’equilibrio tra opposti, promuovendo una vita virtuosa attraverso la moderazione, il rispetto per gli altri e il compimento dei propri doveri, senza eccessi né carenze N.d.T.). Se riesco a raggiungere uno stato simile quando scatto una fotografia, il mio sensore raggiunge la sua condizione ottimale e riesce a cogliere anche i più piccoli dettagli in modo pronto e ricettivo. Quando questo accade, riesco a dialogare al meglio con le persone e gli oggetti con cui mi interfaccio.

Capisco. Qual è l’aspetto più affascinante del lavoro di fotografo?

Niki La fotografia mi mostra un mondo che non conosco. In un certo senso, questo avviene perché viviamo tutti nel nostro piccolo mondo. Per esempio, io non bevo alcolici e quindi non conosco il mondo dei vini. Però, quando vado a fare un servizio fotografico per un’azienda vinicola, si parla approfonditamente del background del vino, della storia millenaria di quella regione e della morfologia del territorio. Ho potuto imparare molto sull’Italia assaggiando i prodotti locali. E quando trovo il vino di una cantina che ho fotografato in un ristorante, provo un sentimento di affetto. Mi chiedo cosa stiano facendo le persone che avevo incontrato. In altre parole, lavorando come fotografo, espando costantemente l’ambito dei miei affetti. Lavoro molto anche con riviste di moda, e questo mi dà occasione di sbirciare attraverso il mirino molti aspetti del mondo delle celebrità

資料を読ませていただいたところ、「中庸であること」という言葉がありました。

仁木 私は瞑想とヨガを20代の頃からやっています。瞑想をしていると深く入り込んでいき、ある地点で急にグリーンと安定します。その時が「中庸である」状態なんです。写真を撮る時にそれに似た状態に入ることができると、自分のセンサーが最良の状態になり、微細なものまで敏感にキャッチできる。そして、そういう時は対象の人や物ともよく対話ができているものなんです。

なるほど。では写真の仕事の魅力とは何でしょう？

仁木 写真って自分の知らない世界を見せてくれるんです。言ってみれば自分自身は狭い世界で生きているわけですからね。例えば私はアルコールが飲めないのワインを知りません。だけど取材でワインの撮影に行くと、その地域の何万年前の地形や歴史など、ワインの背景にあるものの非常に深い話になっていきます。地域の生産物を振る舞っていただきながら、イタリアのことをたくさん勉強させてもらえる。そして、自分が撮影したワイナリーのワインをレストランで見つかりすると、愛着を感じます。あの時のあの人どうしてるかなと思ったり。つまり、写真の仕事をしていると愛着を持つ範囲がどんどん広がっていくんですね。

ファッション誌の仕事も多いので、自分だけでは体験できないだろうイタリアのセレブな世界も、ファインダーを覗きながら色々と垣間見させてもらっています。



Gondola going through the light (2022)

非常にセンシブルな仁

italiane, un mondo che altrimenti non avrei potuto conoscere.

Lei che è una persona molto sensibile, come vede il mondo della moda?

Niki In generale mi diverto molto, ma probabilmente posso dire che è un mondo che osservo in modo oggettivo. Qui non

perseguo la mia arte, bensì ricerco con calma quell'“espressione di lusso” che mi viene richiesta. Non mi capita mai di lasciarmi coinvolgere a tal punto da “ubriacarmi” ed essere inebriato da quel mondo.

Desidera continuare a fare il fotografo in Italia?

Niki In Italia, le città sono progettate affinché le persone possano incontrarsi: hanno sempre una piazza al centro e sono a misura d'uomo. Credo che gli italiani diano molta importanza alla comunicazione e alla dignità umana. Da loro vorrei imparare di più su ciò che potrei chiamare “nucleo” dell'umanesimo, e spero di riuscire a trasmettere questi aspetti attraverso le mie fotografie.

Anche il Giappone è un Paese meraviglioso. Ci sono regole precise che le persone rispettano rigorosamente, le città sono belle e pulite, tutti

木さんですが、ファッションの世界をどう見えていますか？

仁木 大いに楽しんでいますが、客観的に見る世界と言えるかもしれません。ここでは自分の芸術性を追求するのではなく、求められる「ラグジュアリーの表現」を冷静に追求しています。その世界に酔いしれたり巻き込まれたりすることはありません。

ずっとイタリアで撮っていきたいですか？

仁木 イタリアは街の作り方からしても、必ず中心に広場があったりと人間のためのサイズで、人と人が出会うようにできています。イタリア人はコミュニケーションや人間の尊厳というものをとても大切にしていると感じています。私は彼らからヒューマンイズムの「核」みたいなものをもっと学び、私も写真を通してそういったものを伝えられればと思っています。

日本は素晴らしい国です。規律がきちんとあって、それを遵守する人がいて、街も綺麗で、人はみな働き者で、他を気遣えます。ただ、一人一人の気持ちや存在、人間の尊厳が軽んじられていると感じるところもあります。私の場合は、それ故に日本では写真に撮りたいものが少ないのかもしれませんが、ですがその分、日本の良さを発信してくれている外国の写真家の作品などを見ると、嬉しいですね。そして、自分の合わせ鏡のように感じます。



天使像をテーマとした写真集『天使の写真/Portraits of Angels』が日本で出版されている。/Raccolta fotografica a tema statue di angeli, pubblicata in Giappone con il titolo “Tenshi no Shashin / Portraits of Angels”



数々の日本の雑誌の表紙を担当/ Ha curato numerose copertine di riviste giapponesi

sono diligenti nel lavoro e premurosi verso gli altri. Tuttavia, a volte ho l'impressione che venga data poca importanza all'esistenza e ai sentimenti di ciascun individuo, sminuendo così la dignità umana. Nel mio caso, forse è per questo che ci sono poche cose che desidero fotografare in Giappone. Al tempo stesso, però, mi rende felice vedere fotografi stranieri che diffondono gli aspetti positivi del Giappone attraverso i loro scatti. È come se mi guardassi in due specchi opposti, così da potermi vedere anche alle spalle.

※<https://www.siteniki.com>

Servizio di Junko Kataoka
(Traduzione in italiano: Emanuela L.Ancio)

「華やかさ」だけでは語れない ファッションウィーク

ミラノやパリのファッションウィークは世界中の憧れだ。そして今、アジア人モデルも注目されつつあるが…

コロナ禍以降出現したデジタルコレクション

2019年からエディ・スリマンがクリエイティブディレクターを務めるフランスのセリーヌは、コロナが収束してからもデジタル形式でのコレクション発表を度々行っている。無観客でコレクションを撮影し、それをオンラインで配信するという、コロナ禍以降に多く見られるようになった形式だ。通常の有観客でのコレクションとは違い、デジタルコレクションは無観客である分、そのブランドのテーマに合った場所を選び、カメラワークにこだわって撮影できるという利点がある。その上、オンライン配信である故に、世界中の誰もが自由に無料で鑑賞できる。

エディ・スリマンはオテル・ドゥ・マリーヌやフランス国立図書館など、フランスを代表する歴史的建造物を会場として選ぶことが多いのだが、2023年にはローマのファルネーゼ宮（16世紀のルネサンスの代表的建造物。在ローマ仏大使館として使用されている）にてシューティング（撮影）を行っている。そして今回の「2025年春夏メンズコレクション」はイギリスのノーフォークにある18世紀建造のカントリー・ハウス、「ハウカム・ホール」を使用してデジタル形式で行った。

これまでエディ・スリマンによるセリーヌといえば、スキニー（体にぴったりフィットする細身ファッション）でロックな若者の装いというイメージが強かった。しかしながら今回のコレクションでは一気に雰囲気が変わり、まるで英国貴族のような乗馬服やブリティッシュトラッドなルックが目立った。モデルの男性たちは、伝統的かつ壮麗なカントリーハウスに避暑に来た良家の子息のようだった。

イタリアのブランドがショー会場に使用するのは

イタリアのファッションブランドも、ショー会場として積極的に歴史的建造物を利用しているように思われる。2024年9月に開催された「ミラノファッションウィーク（MFW）2025年春夏」の公式ポスターは、ミラノのブレラ絵画館で撮影された。MFWのたびに街に貼り出されるポスターは、毎回ミラノを象徴する場所や建物で撮影されている。

自社の施設を持つブランドはそこでコレクションを行うことが多い（例えばブラダのブラダ財団、アルマーニのアルマーニ/シーロス、ドルチェ&ガッバーナのスパツィオ・メトロポリ）のだが、歴史的建造物や粋な場所を会場に選んだ最近のショーを挙げるなら、ポルディ・ベッツォーリ美術館を使ったダンヒル（2025年春夏メンズ）、ミラノ・トリエンナーレ・デザイン・ミュージアムを会場に選んだグッチ（2025年春夏メンズ）、そしてミラノの地下鉄ポルタ・ヴェネツィア駅でランウェイを実行したMSGM（2024年秋冬メンズ）などである。

ドルチェ&ガッバーナのオートクチュール部門は、イタリア

La Fashion Week non è solo “glamour”

Le settimane della moda di Milano e Parigi sono amate in tutto il mondo. E ora anche i modelli asiatici stanno guadagnando fama...

Le collezioni digitali nate dopo il disastro del corona virus

La casa di moda francese Céline, di cui Hedi Slimane è il direttore creativo dal 2019, ha spesso presentato le sue collezioni in digitale da quando c'è stato il Covid. Un formato, questo, che è diventato sempre più utilizzato dallo scoppio della pandemia, con le sfilate fatte a porte chiuse per poi venire pubblicate direttamente online. A differenza di quelle con il pubblico presente, le collezioni presentate in digitale hanno il vantaggio, proprio perché senza pubblico, di garantire la scelta di una location che meglio si adatti al tema del marchio, oltre che la possibilità di concentrarsi sul lavoro di ripresa. Inoltre, essendo distribuite online, possono essere consultate liberamente e gratuitamente da chiunque, in tutto il mondo.

Hedi Slimane sceglie spesso come location edifici storici francesi particolarmente iconici, come l'Hôtel de Marine e la Biblioteca nazionale di Francia, e nel 2023 ha realizzato un servizio fotografico a Palazzo Farnese a Roma (un importante edificio rinascimentale del XVI secolo che funge da Ambasciata francese a Roma). La collezione uomo primavera/estate 2025 è stata invece realizzata in digitale a Holkham Hall, una casa di campagna del XVIII secolo nel Norfolk, in Inghilterra. Finora, Céline, con Hedi Slimane come direttore creativo, è sempre stata associata alla moda skinny e a un abbigliamento giovanile più rock 'n' roll. Tuttavia, in quest'ultima collezione l'atmosfera è cambiata drasticamente, con abiti equestri e look tradizionali britannici che ricordano l'aristocrazia inglese. I modelli sembrano essere figli di buona famiglia venuti a trascorrere l'estate nelle tradizionali e grandiose case di campagna.

La scelta della venue da parte dei marchi italiani

Anche i marchi di moda italiani sfruttano spesso gli edifici storici per le loro sfilate. Il manifesto ufficiale della Milano Fashion Week (in breve, MFW) Primavera/Estate 2025 è stato realizzato alla Pinacoteca di Brera a settembre 2024. Le foto pubblicitarie affisse per le strade della città a ogni MFW vengono scattate in luoghi ed edifici di rilievo di Milano.

I marchi che dispongono di strutture proprie, invece, spesso utilizzano quest'ultime (ad esempio, Fondazione Prada di Prada, Armani/Silos di Armani, Spazio Metropol di Dolce & Gabbana). D'altra parte, tra le sfilate recenti che hanno scelto come location edifici storici chic o luoghi originali ci sono Dunhill (primavera/estate 2025 uomo), che ha sfilato al Museo Poldi Pezzoli, Gucci (primavera/estate 2025 uomo), che ha scelto come sede la Triennale di Milano, e MSGM (autunno/inverno 2024 uomo), che ha sfilato alla stazione della metropolitana di Porta Venezia.

Per le collezioni *haute couture** di Dolce & Gabbana sono sempre state scelte delle location iconiche (le sfilate *prêt-à-porter*, invece, si tengono allo Spazio Metropol, dove ha sede l'azienda) come la



ミラノファッションウィーク (MFW) 2025年春夏の公式ポスター / Poster ufficiale della Milano Fashion Week (MFW) Primavera/Estate 2025

を象徴する素晴らしい会場を毎回選んでいる（ブレタポルテ部門のショーは会社があるスパツィオ・メトロポルで行う）。ドルガバのアルタ・モーダやアルタ・サルトリ

ア（※編註下記）のショー会場は、ミラノのアンブ

ロジアーナ絵画館、スカラ座、リッタ宮などのほか、ナポリの街中やシチリアのアグリジェントなど、イタリアの偉大な文化や雄大な自然を伝える場所だ。今年5〜7月にミラノのパラッツォ・レアーレで開催された、その手仕事を辿る特別展「Dal cuore al mani, Dolce&Gabbana」では、イタリア各地で開催されたショーにおいて使われた服や装飾品がふんだんに展示されていた。

有観客で行われるショーでは、15分足らずの本番のために会場設営、照明、音楽、ヘアメイク、スタイリスト、モデルなど、大勢の人間が動く。その1回限りのショーのためだけのオブジェや音楽を準備して本番に臨むブランドもある。このような再現不可能なショーは瞬間芸術のようでもあるのだ。

アッパークラスとワーキングクラスが交差する？

さて、ホウカム・ホールのセリーヌのショーの配信を見た後で私は、「英国流に言えば、ファッションウィークはアッパークラスとワーキングクラスが交差する場なのではないか」と思った。ファッションウィークで発表されるような服の購入や、オートクチュールのオーダーができるのは、ブルジョア階級と新興のインフルエンサーたちだけ。ブランドの方でも、世界中のセレブリティやアッパークラスの購入意欲を刺激するべく、彼らの特権意識に訴えるようなショーやイベントをあの手この手で演出する。夢のような世界で想像もつかないような大きなお金が動くのであろう。

だが、その一方で、華やかに見えるファッションモデルたちの生活は、決して煌びやかなものではない。ヨーロッパ出身のモデルは、学費を稼ぐためにロンドン、パリ、ミラノで仕事をし、20代半ばで引退というケースが多いようだ。しかしながら日本や韓国などアジアのモデルにとっては、まずヨーロッパへ渡航することが最初の壁であり、大変厳しい世界であることは想像に難くない。はるばるやって来ても、「ヨーロッパの事務所に所属できるかどうか」から始まるのだ。

ブックを抱えて駆けずり回るモデルたち

ミラノの街中ではモデルをよく見かけるが、彼らはオーディションに行くためにブック（自身のモデルとしての作品集。モデル活動の経歴や写真をまとめたもので、オーディションの選考に使われる）を抱えて駆けずり回っている。幸いにも事務所に所属できたとしても、そこからキャスティングに呼ばれるかどうかは、まだわからない。更に、キャスティングに呼ばれて服のフィッティングに進めたとしても、本番のショーに出られ

Pinacoteca Ambrosiana, il Teatro alla Scala e Palazzo Litta a Milano, nonché le strade di Napoli e Agrigento in Sicilia, che sono in grado di trasmettere la grande cultura italiana e la magnifica natura del Paese. “Dal Cuore alle

mani, Dolce&Gabbana” è una mostra speciale che è stata allestita a Palazzo Reale a Milano da maggio a luglio di quest’anno: sono stati ripercorsi la storia e il lavoro dietro alla casa di moda, ospitando una grande quantità di abiti e oggetti decorativi provenienti da sfilate svolte in varie località italiane. In una sfilata con il pubblico, sono numerose le persone che si occupano di gestire l’allestimento: per meno di 15 minuti di show, bisogna pensare a location, luci, musica, capelli, trucco, stilisti e modelle. Alcune case di moda creano oggetti e musica solo per quello specifico show, come fosse una rappresentazione di arte effimera.

Un mix tra upper e working class?

Dopo aver assistito alla sfilata di Céline alla Holkham Hall, ho pensato che la Fashion Week sia il luogo in cui si incrociano, usando dei termini inglesi, l’*upper class* e la *working class*. Solo la classe borghese e gli influencer emergenti possono permettersi abiti come quelli presentati alla settimana della moda o di ordinare capi di alta moda. Per stimolare la voglia delle celebrità e dell’*upper class* di acquistare, i brand fanno di tutto per organizzare show ed eventi che stuzzichino il loro ego di classe privilegiata. È un mondo da sogno in cui si spendono somme di denaro inimmaginabili. D’altra parte, la vita di questi modelli dall’aspetto tanto glamour è tutt’altro che affascinante. I modelli europei lavorano spesso a Londra, Parigi o Milano per pagarsi gli studi e ritirarsi a venticinque anni. Tuttavia, non è difficile immaginare che per i modelli orientali provenienti da Giappone, Corea e altri Paesi asiatici, la prima barriera sia il viaggio verso l’Europa, un mondo molto difficile. E una volta arrivati, la prima domanda che si pongono è se saranno in grado di entrare a far parte di un’agenzia europea.

Modelli di corsa con il book appresso

Per le strade di Milano si vedono spesso modelli girare con in mano il loro book (una raccolta dei loro lavori come modelli e delle loro foto, che viene utilizzata per la selezione ai provini) per andare ai provini. Anche se sono abbastanza fortunati da far parte di un’agenzia, non hanno la certezza che verranno chiamati per dei casting. Inoltre, anche quando questo accade e si sottopongono a una prova d’abito, non sanno ancora se riusciranno ad apparire durante lo show vero e proprio. I costi del viaggio e dell’alloggio sono a carico del modello, a meno che il brand non decida di invitarlo in Europa perché gli piace.

るかどうかはまだわからないという。ヨーロッパへの渡航費や滞在費は、ブランド側に気に入られて呼び寄せられた場合以外は持ち出しだ。

世界最新のモードを発表する華やかなファッションウィーク。全てのものには裏があるのは世の常で、その内情はなかなか泥臭いようだ。特に日本人モデルには言葉の壁があることもあって、トラブルに見舞われたという話をよく耳にする。日本のモデル事務所も海外に送り出した方がいいがサポートが行き届いていないようで、ミラノの街で途方に暮れる彼らの様子を幾度となく見てきた。

ミラノにいとファッションウィークの華やかさにウキウキする。だが、もはや、ブルジョアやインフルエンサーの特権意識に訴えるだけのイベントとなっている感があるのは、否めない。アップークラスの世界の中で使い捨てになっているモデルや多くの下働きの人々がいることを、忘れてはいけないのだと思う。

(追記：正にこの記事執筆中の10月2日、エディ・スリマンがセリーヌのクリエイティブディレクターを退任したとのニュースが入った。)

※一般的にオートクチュールコレクションはパリにて開催されるものだが、ドルチェ&ガッバーナは2012年より独自のオートクチュール部門としてメンズのアルタ・サルトリア、レディースのアルタ・モーダコレクションをイタリアで発表している。

La Fashion Week è un evento glamour che presenta al mondo le novità e le ultime tendenze. Come spesso succede, però, c'è anche il rovescio della medaglia, e i dietro le quinte di questo evento sono poco trasparenti. Non è raro sentire storie di modelli giapponesi in difficoltà per via della barriera linguistica. Le agenzie di moda giapponesi sono felici di mandare i propri modelli all'estero, ma senza fornire loro il supporto adeguato, e ne ho visti tanti per le strade di Milano che non sapevano che pesci pigliare.

A Milano l'entusiasmo durante la settimana della moda è palpabile. Tuttavia, è innegabile che sia diventato un evento organizzato solamente per soddisfare l'ego delle classi sociali più benestanti e degli influencer. Non dimentichiamoci mai, però, che ci sono molti modelli e lavoratori che si occupano dei compiti più ingrati e che vengono visti semplicemente come strumenti usa e getta dall'alta società.

(p.s. Proprio durante la stesura di questo articolo, oggi 2 ottobre 2024, è giunta la notizia che Hedi Slimane si è dimesso dalla carica di direttore creativo di Céline.)

*Le collezioni *haute couture* vengono presentate generalmente a Parigi, ma Dolce & Gabbana le tiene in Italia dal 2012 con le sue collezioni Alta Sartoria uomo e Alta Moda donna.

Nao Masunaga

(Traduzione in italiano: Camilla Troisi)

そもそもファッション・ウィークってなに？

ファッションウィークとは、1週間にわたって行われるファッションの新作発表会のことです。1年のうちにメンズ2回、レディース2回開催される。1月と2月には秋冬コレクションが、6月と9月には春夏コレクションが世界に公開され、今後のシーズンにやってくる流行、つまりトレンドの最先端が発信される。最も規模が大きく重要な「四大ファッションウィーク」は例年ニューヨーク、ロンドン、ミラノ、パリの順で行われるが、ファッションウィークはこの4つに限らず、世界各地の都市で開催されている。

この何年か、ファッションウィークで急速にアジア人モデルが多く起用されるようになり、年々その注目度が増している（職業モデルではない俳優なども、モデルもしくはゲストとして呼ばれる）。今年9月のミラノ・ファッションウィークの際、中心街で韓国人俳優の凄まじい追っかけに出くわした。肝心の俳優ではなく彼に群がるファンを見ている方が面白く、中には嬉しさのあまり腰を抜かすイタリア人女性もいて、驚いた。世界的な

韓流ブームの影響なのか？

日本人モデルではパリとミラノで数多くのランウェイを歩いているYuto Ebihara（海老原優斗）くんが今、成長株である。

現在のファッションウィークは巨大化し、参加費用が高騰しているからか、ある程度大きくて知名度のあるブランドしか名を連ねなくなった。ミラノに関して言うと、かつては小さなブランドでもランウェイを行ったし、我々一般人もショーを観に入場することができた。運が良ければフロントロー（最前列）に座れることさえあった。しかしながら今は敷居が高くなり、俳優やインフルエンサー、ユーチューバーのみ優先的に招待され、一般人は入ることができなくなった。雑誌社や有名団体の招待客であっても入場の際に入念なチェックが入るのは、セキュリティの問題もあるのだろう。昨今の環境保護団体や動物愛護団体の抗議でショーを台無しにされたところもあると聞いている。

私たち一般人にもかつては手が届いたファッションウィーク。時代の変化とミラノの進化とともに、徐々に遠ざかりつつある。

Che cos'è la Fashion Week?

La Fashion Week è un evento della durata di una settimana dedicato alle novità della moda, sia maschile che femminile, che si tiene due volte l'anno. Tra gennaio e febbraio sfilano le collezioni autunno/inverno, mentre quelle di primavera/estate tra giugno e settembre per presentare al pubblico le ultime tendenze, che saranno in voga durante la stagione successiva. Le più grandi e importanti si tengono nelle "Big Four", ossia le capitali mondiali della moda: nell'ordine New York, Londra, Milano e Parigi. Le settimane della moda, però, non sono solo queste, ma ce ne sono molte in varie città di tutto il mondo.

Negli ultimi anni, i modelli asiatici sono diventati sempre più popolari alle Fashion Week e la loro presenza è aumentata di anno in anno (anche molti personaggi famosi non modelli, come ad esempio attori, vengono invitati sia nei panni di modelli che come ospiti). Ecco che, durante la Milano Fashion Week tenutasi a settembre di quest'anno, mi sono

NEW PACKAGE

ゆめにしき

欧州産新こしひかり

アルプスの豊富な雪解け水が流れ込んだイタリヤの肥沃な大地で選りすぐりの契約農家が丹精込めて育てたお米が今年も届きました。田んぼから精米まで日本の技術者に指導を受けた旨みあふれる極上のお米をお試しください。

JFC INTERNATIONAL (EUROPE) GROUP

<https://www.jfc.eu/>



imbattuta in un'incredibile caccia a un attore coreano in pieno centro. È stato più interessante osservare le fan che si accalcavano su di lui piuttosto che la presenza dell'attore stesso, e mi sono stupita vedendo come alcune ragazze italiane fossero quasi svenute dall'emozione. Sarà per via del boom coreano che ha travolto tutto il mondo? Parlando invece di modelli giapponesi, Yuto Ebihara, che ha sfilato su numerose passerelle a Parigi e Milano, è ora una stella nascente.



Oggi la Fashion Week è un evento di dimensioni colossali e, forse a causa dell'aumento dei costi di partecipazione, solo i marchi più grandi e conosciuti

riescono a trovarvi posto. Per quanto riguarda Milano, in passato anche i piccoli marchi avevano delle passerelle e il pubblico poteva entrare per assistere alle sfilate. Se si era fortunati, ci si poteva anche sedere in prima fila. Tuttavia, ora che i costi hanno raggiunto cifre stellari e che gli attori,

gli influencer e gli youtuber vengono ad assistere alle sfilate solo grazie a inviti speciali, il pubblico non ha più modo di partecipare. Il fatto che anche gli invitati che lavorano per riviste conosciute e di organizzazioni famose siano sottoposti a controlli accurati all'ingresso è probabilmente dovuto in parte a questioni di sicurezza. Ad esempio, pare che ci siano stati alcuni show che sono stati rovinati a causa delle recenti proteste di gruppi ambientalisti e animalisti.

Un tempo la settimana della moda era un evento accessibile a tutti ma, con i tempi che cambiano e l'evoluzione di Milano, sta diventando un ricordo sempre più lontano.

Ciao!Journal

(Traduzione in italiano: Camilla Troisi)

素敵な紙細工の店



ハロウィンに始まって徐々にクリスマスモードへと移行していくこの時期、ミラノの街角で偶然見つけた素敵な紙細工の店「CALAMBOUR」を、ご紹介しよう。ここは、イタリアのデコレーションペーパーのメーカー、カランブール社のショップである。

店内には夥しい数の紙細工製品が所狭しと置かれている。店に一步入ると忽ち、子供の頃に戻ったような気分になった。というのも、それぞれの製品に使われている紙のどれもが、ノスタルジーを感じさせるような図柄だからだ。イラスト入りの古い本のページを使って作った置き物は、昔大好きだった飛び出す絵本のようなのだ。物語の登場人物がページの中から出てきてワイワイおしゃべりしている。浮世絵を題材にした作品もあれば、桜を愛でる日本人女性の様子を描いたデコパージュもある。桜の花弁が細かく丁寧に作られていて美しい。

もちろん、これらの作品

にはカランブール製の紙が使用されている。同社の社長であり、この店のオーナーでもあるシルヴィア・マンガノさん自身が、包装紙、そしてデコパージュや紙クラフト用の紙のデザイナーなのだ。ギフトカードのイラストは、シルヴィアさんの息子さんの奥さんが担当している。

Calambour, un negozio di decoupage

“Calambour” è un grazioso negozio di decoupage in cui mi sono imbattuta casualmente in quel di Milano, in una giornata autunnale in cui le vetrine dei negozi si colorano di arancio per Halloween; colore che poi viene sostituito dal rosso natalizio.

L'interno della boutique, appartenente all'omonima azienda produttrice di carte per decorazione, è occupato da innumerevoli opere di decoupage. Basta un solo passo in negozio per venire trasportati indietro nel tempo e sentirsi di nuovo bambini. Ogni carta impiegata per la decorazione è caratterizzata da fantasie nostalgiche che rievocano l'infanzia. Ecco, ad esempio, un'opera creata da un vecchio libro che mi ricorda i libri pop-up che amavo così tanto da piccola: i personaggi sembrano letteralmente fuoriusciti dalle pagine e chiacchierare tra di loro. Ci sono anche dei decoupage che traggono ispirazione dall'*ukiyo-e* e da immagini classiche giapponesi, come quelli di donne che osservano i fiori di ciliegio. Quanta bellezza in quei petali di sakura, creati uno ad uno con incredibile cura.



Ovviamente tutte le carte utilizzate sono prodotte da Calambour, ideate dall'amministratrice e proprietaria del marchio, Silvia Mangano; i bellissimi biglietti d'auguri, invece, sono disegnati dalla sua nuora Chiara Giudice, una bravissima illustratrice.

Natsu Funabashi



※シルヴィアさんはデコパージュ講座を開いているので、興味のある方は問い合わせてみてください。今回は店舗紹介にとどめますが、「CALAMBOUR」の話は後日改めて記事にする予定です。皆さん、お楽しみに！

※Calambour organizza corsi di decoupage: non esitate a contattarli! In questo articolo vi abbiamo presentato il negozio di Calambour, ma presto pubblicheremo anche l'intervista con loro. Insomma, rimanete sintonizzati!

「Calambour」 Corso Lodi, 74 Milano
sales@calambour.com
☎ 02-55231441

20 AIRG Ventennale
promuove dal 2003 la conoscenza della cucina giapponese autentica

2003-2023

SHIRO POPORONA 赤松園 大阪 Osaka Japanese restaurant since 1999 HIGUMA

zero KOKORO くらかん

AIRG - Associazione Italiana Ristoratori Giapponesi
www.ristoratorigiapponesi.it
info@ristoratorigiapponesi.it

Giacca leggera

上品かつ緻密な ジャッカ・レジェーラ

人それぞれの寸法を捉えることで生地は自然に垂れ、美しいラインが生まれ、身体の一部となる。

着用者だけが特別な体感を得られる、究極のジャケット。

Cartoria Apsilon

ミラノでただ一つの日本の本屋
L'unica libreria giapponese a Milano

TANABATA 七夕書店
Libreria Giapponese

Tanti libri, ma non solo. Taaanto altro da sbizzarrirsi, anche per sognare di essere già nel Paese del Sol Levante !!!

Ciao 優待券 sconto 10%

七夕書店 TANABATA
Via Adige, 7 - 20135 Milano - tel. 02-5463980
info@tanabata.it - www.tanabata.it

こちらは読者の掲示板です / Questo spazio è dedicato agli annunci dei lettori:

ミラノ補習授業校2025年度新入生募集

- 幼稚部（5歳児クラス）：2019年4月2日～2020年4月1日の間に誕生したお子さん
 - 小学部1年：2018年4月2日～2019年4月1日の間に誕生したお子さん
- お問い合わせはミラノ補習授業校事務局まで。E-mail：milanohoshuko10@gmail.com

チャオ誌面とHPに告知掲載 /

Pubblica il tuo annuncio sulla versione cretacea e sul sito di Ciao:
1コマ25ユーロ（20字×5行、英数半角は2文字で1字） / una casella: 25euro（40 battute per 5righe）

CiaoのFbやインスタ上での告知 / Annunci su Facebook e Instagram di Ciao: Ciaoの告知として2回掲載で25ユーロ（100字、英数半角は2文字で1字、写真1つ） / L'annuncio verrà pubblicato 2 volte sui social di Ciao: 25euro（200 battute, foto）

詳細とお申込み / Per info scrivere a ciao@ciaojournal.com

TIME & STYLE

Time & Style ミラノのインテリアショールームではミラノ在住のイタリア語・英語・日本語のスキルがある販売・事務スタッフを募集しています。

Time & Style Milan cerca addetti vendita e amministrativi con competenze in italiano, inglese e giapponese.

Contact(Kanako): kyajima@timeandstyle.com
www.timeandstyle.com



全国すし生活衛生同業組合連合会加盟店
Membro della Federazione Nazionale delle Associazioni per l'igiene del Settore Sushi

ミラノの**プレラ歯科**はコロナウィルス簡易検査キット常備の指定医院です。感染予防策を徹底していますので安心してご来院下さい。Ciao!誌持参の方は初回診察無料。日本語専用電話（340-2497054）でご予約を。詳細はp.5の広告にて。

Ciao!のHPを
リニューアルしました!
È online il nuovo sito di Ciao
www.ciaojournal.com

ミラノ・グローバル・ラーニング・アカデミー (MIGLA) は、日本国籍を持つ子女のための国語補習授業校です。○日本政府援助対象校 ○幼稚園4歳児～高校生 ○編入随時。見学、授業体験可
お問い合わせは milano.gla2020@gmail.com 迄。

イタリアに少しでも興味をお持ちの方は、お気軽にご入会ください

神戸日伊協会
ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE DI KOBE
日伊両国間の、民間レベルでの相互理解、友好親善を深め、あわせて会員間の親睦をはかります。

■神戸日伊協会・年会費

個人会員お一人	5,000円
*ベア会員	8,000円
法人会員一口	30,000円<いずれも税込み>

*ベア会員=ご夫婦、親子など、会報等の送付先、その他連絡先が同一の方

〒651-0096 神戸市中央区雲井通7-1-1 「ミント神戸」17階 神戸新聞文化センター (KCC内)

神戸日伊協会
TEL. 078 (265) 1100 FAX. 078 (265) 1105

STUDIO LINGUISTICO SOE
di Masatake Soejima
www.studiolinguisticosoe.it

ビジネス文書翻訳（伊英日） / 裁判所宣誓翻訳（伊英・伊日） / 輸出入ご商談のお手伝い
Translation of Business documents between Japanese⇔Italian / Online consecutive interpretation for Import Export meetings / Japanese language lessons

ISTITUTO italiano DI CULTURA
TOKYO

CIAO! Journal年間定期購読 / CIAO! Journal Abbonamento annuale

●印刷版…22ユーロ（イタリアのご住所のみ）の「お振り込みデータ」「ご氏名」「ご住所」を ciao@ciaojournal.com までお送り下さい。
Geienneffe Editore S.a.s.
IBAN: IT13M0623001602000057063791

con il nome e l'indirizzo su cui desideri ricevere Ciao!Journal.
- Fai il bonifico al seguente IBAN:
Geienneffe Editore S.a.s.
IBAN: IT13M0623001602000057063791

※PayPalでお支払いの方は www.ciaojournal.com → 「定期購読」をご覧ください。

●WEB版…無料。ご希望の方は ciao@ciaojournal.com までお申し込みください。また、お友達にご自由に転送なさってください。

●Abbonamento annuale CIAO! Journal in versione cartacea…22euro（l'abbonamento è rivolto esclusivamente ai residenti in Italia）
Dopo aver fatto il bonifico, invia la ricevuta del pagamento all'indirizzo ciao@ciaojournal.com

●Versione Web di CIAO! Journal…GRATIS.
Se desideri ricevere la versione Web della rivista, scrivi all'indirizzo ciao@ciaojournal.com indicando: nome, cognome e l'indirizzo mail su cui vuoi ricevere la rivista. Ciao! Journal può essere condiviso liberamente con tutti!

ミラノのWEB制作会社
web agency a milano

SHIBUMI AGENCY

数々の実績とお客様からの信頼。日本の方からのご依頼も承っております。

+39 351 8228088 | info@shibumi.agency



クリスマスショッピングです。 でももっといいです。

アート、特別なゲストサービス、最高級の食事など、忘れられないオープンエアーのショッピング体験をお楽しみください。

アディダス、ボス、コーチ、エトロ、ジミーチュウ、ナイキ、ステラ・マッカートニー、ノースフェイスなど、ミラノやボローニャからわずか1時間です。

プロモーションコード「CIAOJOURNALFV」を使用して、FidenzaVillage.com/booking でミラノからのショッピングエクスプレス・バスサービスを無料で予約することができます。



FIDENZA
VILLAGE

TAX
FREE
SHOPPING